

めぐみ

2024年
11月号

学校法人 聖公会北関東学園

認定こども園

初雁幼稚園

〒350-0057 川越市大手町 8-5

Tel 222-5385 Fax 228-5010

友人でもあり大先輩

主任保育教諭 田口留美子



勤めていた時に保育の仕事をはじめた前の職場で最初に仲良くなったYさんの話をさせていただきます。初めて仕事につき、右も左も分からないうえ、極度の人見知りのために、私は仕事以外で誰とも話すことをしていませんでした。そんなある日、玄関の掃除をしている時に、「いつも掃除ありがとうございます。私にもあなたより一つ上の娘がいるのよ。だから話しかけてみたかったのよ」と話しかけてくれたのがYさんでした。仕事以外で職場の方に話しかけてもらったのが初めてで嬉しく、いつもの帰り道は気疲れで帰る日々だったけれど、その日は「なんて明るい人なんだろう」と思いながら家に帰りました。

その日を境に毎日少しずつ話すようになり、仕事の相談、そして愚痴、たわいもない会話…。仕事がどんどん楽しくなり、続けていこうという気持ちになれたのも、この方のお陰です。私より30歳以上歳が離れていて、私の親よりも年上の方、私より何十倍も明るく、話すことが好きで、自分より他人のことをよく見ていてくれて、気にかけてくれる。料理が上手で、枝豆とアサヒビール、時には芋焼酎があればなお大喜び！子どもたちからは「給食のおばちゃん」と呼ばれていた方でした。

仕事ではキッチンに入り、ご飯を温めてる時が私の一番ホッとできるひと時。キッチンにいるYさんとの会話も弾みました。ある日、私がお飯をいつも通り温めていると、Yさんが「るみちゃん聞いてくれる！園長からあなたとしゃべり過ぎで、他の人がしゃべれないから控えなさい、と言われたのよ笑」と。仕事を始めてから数年後、周りからそんなふうと言われるほどの仲になりました。

またプライベート、家族ぐるみでもお付き合いをし、長女と次女もYさんが大好きでした。会う度に何百回と聞いた「あなたはとても良い子よ！優しい。でももっと自信を持ちなさい！明るい気持ちを保ちなさい」の言葉がいつもおまじないようでとても嬉しかった。仕事がうまくいかないマイナス思考になりがちになる私を見抜いていたので、理解相談するとおもしろおかしく言いながらもアドバイスをくれました。

職場を辞める時は、「あなたがいなくなって寂しいけど、あなたは前に進んでこの職業の力を広げて行きなさい」と背中を押してくださったYさん。今は会うことも話すこともできなくなりましたが、辛い時は「聞いてください！Yさん」と家族が寝静まった時にビールを置き、写真に話しかけている自分がいます。

仕事や人生のたくさんのお話を教えてくれ、時には厳しく接してくれ、未熟だった私を成長させてくれ、感謝しきれないほどのことを教えてくださいました。だから今、この職場でいろんな知識を学び、役に立とうと必死に日々頑張っていますよ、Yさん！

今月の保育目標と予定

☆保育目標☆

今月のテーマ
「ありがとう」

今月のねがい

- 気持ちや考えを伝えながら、友だちと分かち合う喜びを感じる
- 秋の自然物と触れ合い、季節を感じる
- 豊かな秋の実りを喜び、神様に感謝する

学年別のねがい

- (1歳) 安心して気持ちを出す
- (2・満3歳) 友だちと楽しむ
- (年少組) 気持ちを伝え合おうとする
- (年中組) 友だちの思いを受け止めようとする
- (年長組) 友だちと協力し、自分たちで進めていく楽しさを味わう

ひとこと

園庭のみかんが色づいてきました。オレンジ色になったらみかん狩り。毎年子どもたちは自分で食べるみかんを入念に選んで採ります。アゲハ蝶が柑橘系の葉に卵を産みに来たり、おなかに卵を抱えたかまきりが現れたり、さるすべりの赤い落ち葉をままごとに使ったり、散歩でどんぐりを拾ったり。秋の自然に触れ、「楽しい!」「なんだろう」「おいしいね」など、感じたことを友だちや先生と分かち合う喜びを味わう秋。豊かな秋を神様に感謝!

今月の聖歌

「かみさまといつもいっしょ」

★予定★

日	曜	行事などの予定
1	金	全体礼拝 (ホール) 入園受付
2	土	就労家庭保育実施日
3	日	文化の日
4	月	振替休日
5	火	面談予備日
6	水	
7	木	年中少園外保育 (予備日13日) アルミ缶回収
8	金	全体礼拝 (幼児祝福式) ↓
9	土	つくし・もも組交流懇談会 就労家庭保育実施日
10	日	
11	月	消防署合同避難訓練 1号面接日
12	火	↓
13	水	3号面接日
14	木	県民の日 就労家庭保育実施日
15	金	収穫感謝礼拝 教職員大会
16	土	就労家庭保育実施日
17	日	
18	月	芋煮会
19	火	園児内科健診②
20	水	
21	木	
22	金	全体礼拝
23	土	勤労感謝の日 卒園生の日
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	11月生まれ誕生会 (出し物: 年中組)
28	木	
29	金	全体礼拝 全埼私幼 PTA 振興大会
30	土	就労家庭保育実施日 幼稚園委員会④



チャプレンのページ

いちばん偉い者

「いちばん先になりたい者は、すべての人の後になり、
すべての人に仕える者になりなさい。」

(マルコによる福音書 第10章14節)



暑い日が多い中にも秋の気配を感じるようになったかと思えば、急速に冬が近づいているような日々、豊かな日本の四季はどうなってしまったのかと気になりつつ、朝晩の冷え込みを実感します。

イエス様の宣教活動は大きく二つに分けることができます。一つは、ガリラヤにおけるおよそ3年にわたる宣教活動で、イエス様は12弟子と共に、教えを宣べ伝え、奇跡を行って神の国の力を示し、たとえ話を用いて神の国について人々に伝えられました。そのためこの3年を、ガリラヤ宣教時代と呼んでいます。

もう一つは、エルサレムにおける1週間の日々です。イエス様はガリラヤ宣教活動に区切りをつけ、首都エルサレムへ来られました。到着したのは日曜日ですが、同じ週の金曜日に十字架にかけられて命を失い、次の日曜日に復活されることとなります。

上記の聖書箇所は、ガリラヤでの活動終盤、イエス様がエルサレムへ向かう決意を固められつつあった時期のことでした。イエス様は自らが十字架にかからねばならないことを既にご存知で、そうした中での弟子たちのやりとりが上記の箇所になります。

弟子たちは、自分たちの中で誰がいちばん偉いかと話し合っていました。十字架を直前に控えたイエス様の前で、弟子たちはこのような状態であったのをイエス様はどれだけ悲しまれたでしょう。この世的な評価のみにしか関心がない弟子たちだったのです。

それに対してイエス様は上記の言葉を弟子たちに話されました。神の国でいちばん偉大な者は、権力や支配力を持ち、人々に影響をおよぼす者ではなく、すべての人に仕える者が最も偉大であるということです。思えばイエス様自身、決して偉大な権力も支配力も持ったわけではありませんでした。むしろガリラヤで貧しい生活を余儀なくされている人々に喜びと希望を伝えていたのです。首都のエルサレムや地位のある人々の中に入り込み、戦い争う中で神の国について語られたものではありませんでした。

今NHKの大河ドラマで、紫式部の物語が放映されていますけれども、藤原家による摂関政治は日本史の中で学んだ記憶があるものの、あれだけの権力争いや後継者争いが繰り返されているのに驚いています。そして私たちの世界は、内容や規模の違いはあるものの、現在まで同じことを何回も繰り返しているのではないのでしょうか。そしてそれは、弟子たちも同じだったわけです。

子どもたちが築き上げてほしい社会はどんな社会か、どんな人間に育ててほしいのか、あらためて考えてみたいものです。

(チャプレン 鈴木 伸明)

クラスまの窓と



つくし組

たくさん歩いてたくさん遊ぼう♪

10月になりやっとな秋らしい気候になってきたのでいざ散歩へ。最近歩くことが楽しくなっているつくし組。公園まで行くには順番にバギーから降りて保育者と手をつないでいるのですが、「歩く？」と誰かに声を掛けると「あるく！」の争奪戦です！歩いている楽しいことその①はお店の看板に近づいて食べるまねっこができること。歩いている人はバギーに乗っている人や保育者にも食べさせてくれます。その②はねこじゃらしを取れること。自分で見つけて自分で引っこ抜いたり、近くにいたダンゴムシにも気づくことができます。その③は公園に着くとすぐに遊びにいけること。公園にはさまざまな遊具の他に、秋の宝物がたくさん落ちています。一通り遊具を楽しむと散歩バッグにどんぐりを詰めたり、落ち葉を舞上げて落ち葉のシャワーを楽しみます。バケツに落ち葉をたくさん集めていっきに舞い上げようとする強者もいます！子どもたちにとっては遊びが広がる季節の秋。今年は短そうですがたくさん歩いて目いっぱい楽しみたいと思います♪

もも組

暑い日には…このコップいいでしょ～♪

秋になり散歩に行けるようになったので、手洗いうがいが大変な季節になってきました。もも組では10月からうがい用のコップを持ってきています。外遊び後は手洗いに加えてうがいに挑戦しています。子どもたちは新品のコップやお気に入りのコップを持ってきて、保育者に「みてみてっ」「これ持ってきたの！」と嬉しそうに毎朝見せるるところから始まります。以前までは散歩から帰ると「疲れたよ」とウッドデッキにゴロンと寝転がり、手洗い場まで行く元気がなかった子も「うがいするよ」と声をかけると「そうだった、コップ使える！」ととても意欲的に支度をしています。こちらが思ってるよりも「ガラガラ～、グチュグチュ～♪」が上手にできるもも組の子どもたち。楽しいあまりに手洗い場からなかなか帰ってこない子もいるくらい今は楽しくて仕方ない時間のようです。保育者や友だちと楽しく行いながら、身の回りの清潔を保って元気よく過ごしていきたいと思います。

ちゅうりっぷ組

短そうな秋ですが…楽しまなくちゃ！

暑かった夏から一変、ぐっと涼しい日が増え過ぎやすくなってきました。夏の間は行くこともできなかった散歩へ、頼りになる年中長のお兄さんお姉さんに手を引かれいざ出発！今の季節初雁公園ではどんぐりや綺麗な落ち葉がいっぱい。どんぐりを発見すると夢中になって拾い集める姿が見られました。「持ち帰り用の封筒」袋あるよ」と伝えると次々と袋の中へ入れていきます。あっという間に封筒はパンパンに。「どんぐり集めの業者かな」と思うような量でした。

「ママに見せるの」「お土産にする」なんともかわいらしい様子です。また中央公民館は広い原っぱ。ここではバツタを追いかけたり植え込みの間を走り抜けてみたり、小さな金木犀の花を拾い「いい匂い♡」。広場にあるベンチはいい休憩場所で、友だちとごろんと横になりほっと一息。幼稚園に帰る前には「元気になる特別なラムネ」をパクン！ちょっと酸味があったのか酸っぱ～いな顔でしたがエネルギーをチャージして頑張って帰ってきました。11月には喜多院遠足、楽しく元気に行ってきたいと思います！

たんぽぽ組

すいっとぼてっと

運動会前に園の畑で芋掘りをしました。「あつた！」と夢中で掘り楽しみました。さつまい芋で何か料理をしたいなど思っていたところ、10月の月刊絵本の内容がスイートポテト作り。「すいっとぼてっと」とリズム感がありお気に入りの絵本。「これ作りたい！」と意気投合しました。幼稚園の芋ととうまくんが持って来てくれた芋を使ってクッキングをしました。5グループに分かれ砂糖係、生クリーム係、バター係、最後に卵の代わりに塗るみりん係を話し合いで決め、レッツクッキング！茹でたお芋が入ったジップロックに順番に材料を入れていきます。あふれないように他の子協力もバッチリ。次はジップロックの上からモミモミして潰していきます。「粒々あつた」と潰す子どもたち。そしてラップで形を整え、みりん係さんがハケでみりんを塗って出来上がり！焼いている間も早く食べたいねーと待ち遠しいたんぽぽ組。お弁当の時間にいただいたのですが、「甘くておいしい♡」「もっと食べたい！」と大満足の子どもたちでした。みんなで作った「すいっとぼてっと」は格別だったようです。

すみれ組

多峯主山でも一致団結！



10月24日に全員で多峯主山に行きました。運動会からまだ日が経たないうちでしたが、疲れも見せずみんな楽しみにしていました。多峯主山はたくさん歩いて、たくさん登ります。それは山だけでなく駅から山の麓までで、大人でも長い道なのです。すみれ組では一週間前から山登りに向けて散歩の練習を始めました。最初は公民館、少しずつ距離を伸ばしマミーマートから濯紫公園まで、狭い所はみんなで一列になって歩きます。一列で歩くと「小学生みたいだね！」と少し大人になった気分です。当日はよく晴れて登山中も気持ちが良さそうです。途中プレゼントされた双眼鏡を覗き、高く伸びた木の葉や虫の動き、友だちの表情までよく見えます。頂上からはスカイツリーだけでなく、「ここから埼玉が見えるよ」という声も(長距離移動に埼玉から抜け出したと思っている子がちらほらいました)。山登り中は木の根っこがあると「危ないから気をつけて」、階段が続く道では「階段があるよ」と自然と子どもたち同士で声をかけあっていました。疲れた子には「頑張れ～、頑張れ～！」の歌で励まし合います。もちろん細い道では一列、道路を歩くときは間を空けずペアと手をつなぐ、もできました。運動会を終え一致団結がさらに強くなった子どもたち。次は聖劇礼拝です。みんなで頑張ろうね！

わが家のまど



(328) 父と娘の時間

補助職員 大森 恵



今年に入り、読書好きの夫と娘たちの間に読書ブームが到来しています。きっかけは一冊の小説。その小説は夫が購入して本棚に置いていたもので、子どもたちがそれぞれのタイミングで読んだことから、家族で感想を言い合える初めての一冊になりました。

その後、夫がちょこちょこ小説を買って帰ってくるようになり、平日は次女が学校の朝読書用にその本を持っていたりしています。もちろん、この読書ブームには小説だけではなくマンガも加わります。スラムダンク、マッシュル、暗

殺教室などなど。子どもたち発信の本に夫がハマるパターンも増えています。夫チョイスの小説たちは初めての一冊ほど娘たちの心に響いてはくれないようですが、それもまた難いお年頃の娘と父親という微妙な関係性の中で、お互いの思いや考え方を知る良いコミュニケーションツールになっているようです。

そんな3人のやり取りをほほ笑ましく見ている私ですが、実はかなり読書が苦手です。なので、この読書ブームでは極力気配を消して過ごしています(笑)。母は娘たちとの生活に全力投球するために日々体力温存に励んでいるので、もうしばらくは読書は無理そうです。

ちなみに、わが家に読書ブームを巻き起こした一冊は「きみの友だち(著:重松清さん)」です。気になる方はぜひ〜。



今月の聖書のおはなし



☆ 11月1日 「種をまく人のたとえ」

マタイによる福音書 13 : 1~23

イエス様は人々に、たとえ話を用いて話されました。道端にまかれた種というのは、神さまの言葉を聞くだけで、それを受け入れようとしない人のこと。こういう人は悪魔に心の種を奪い取られてしまいます。石だらけのところまかれた種は、み言葉を聞いて、いったんは喜んで受け入れますが、困難があると、すぐに信仰を失ってしまう人のこと。茨の間にまかれた種は、み言葉を聞いても日々の悩みや誘惑に妨げられ、神さまから離れてしまう人のこと。良い地にまかれた種は、み言葉に耳を傾け、受け入れる人。何倍にもなって、実を結ぶのです。神様の言葉を心から受け入れられるようにお話をされました。

☆ 11月8日 幼児祝福式

イエスさまは「子どもらを私のところに来させなさい。神さまの国はこのような者たちのものである」と言われ、子どもたちを抱き上げ、手を置いて祝福されたこと聖書に書いてあります。子どもたちのこれまでの成長を感謝し、これからの「健やかな育ち」を願い、司祭から一人ずつ祝福を受けて、幼児祝福式を行います。

☆ 11月15日 収穫感謝礼拝

収穫感謝礼拝の日は、献金のかわりに野菜や果物をお捧げします。神さまに秋の収穫の感謝の礼拝を捧げます。大地や天気恵みを与えてくれる神さまへ感謝をしながら、周りの人たちとも分かち合う大切さもお話の中で伝えていきます。持ち寄った野菜や果物は、礼拝後子どもたちで、日頃お世話になっている近所の方や、連携施設へお届けします。

☆ 11月22日 「クリスマス物語Ⅰ みつげ、誕生」 ルカによる福音書 1 : 26~38、2 : 1~7

マリアさんのもとに大天使ガブリエルが現れ、「おめでとう、あなたは幸せな方。あなたは男の子を産みます。名前をイエスと名付けなさい」と言いました。大天使ガブリエルの言うとおり、マリアさんには赤ちゃんが宿りました。そのころ、王様の命令で人口調査がありました。マリアさんは夫のヨセフさんとベツレヘムに向かいました。2人は旅の途中泊まる宿がなく、馬小屋でイエス様を産み、布に包んで飼い葉桶に寝かせました。

☆ 11月29日 「クリスマス物語Ⅱ 羊飼いの訪問、東の博士たち」

ルカによる福音書 2 : 8~21、マタイによる福音書 2 : 1~17

イエス様が誕生したころ、荒野で羊の番をしている羊飼いのもとに、天使の大群が現れ、イエス様の誕生を知らせました。イエス様の誕生に一番早く駆けつけたのは羊飼いだっただけです。

星占いをしている東の国の博士たちは救い主の誕生を知り、ヘロデの王宮を訪ね、「ユダヤ人の王として生まれた方はどこにおられますか」と言いました。王は祭司長や律法学者に調べさせ、ベツレヘムで誕生することがわかりました。そして博士たちに「イエスを見つけたら、知らせるように」と言って送り出しました。博士たちは、救い主の誕生を知らせる星に導かれ、イエス様のところに辿り着きました。そして黄金、乳香、もつ薬を贈り物として捧げました。